

情報伝達手段 多重化対策チェックリスト

SKY-NETWORK

想定内被災事象チェック項目		現 状	RAD
☐	長期間停電などで電源供給が全喪失したとき、防災行政無線、メール配信、災害情報サイト、各種防災情報発信システムなど主要な情報伝達手段が機能不全になった場合の代替手段はありますか。	ある・なし	適応
☐	庁舎の半壊／全壊で、情報伝達に係る主要な設備、機器、システムなどが使用できなくなった場合の代替手段はありますか。	ある・なし	適応
☐	主要な情報伝達手段を全喪失した場合、専用の情報発信設備やPC等の情報機器が無くても簡単に住民へ情報伝達する手段はありますか。	ある・なし	適応
☐	地震による庁舎倒壊や津波などから放送担当者が自身の身の安全を確保しながら（例えば避難途中の車中から）情報発信できる手段はありますか。	ある・なし	適応
☐	通信インフラの寸断で屋外スピーカーや戸別受信機が機能しなくなった場合でも、特に緊急度の高い情報（津波、竜巻、河川氾濫、土石流など）を防災無線放送と同様なプッシュ型でリアルタイムに音声放送できる代替手段はありますか。	ある・なし	適応
☐	山間地などで通信ケーブル配線型屋外スピーカーのケーブルが断線した場合の代替となる情報伝達手段はありますか。	ある・なし	適応
☐	幹線道路の寸断により孤立集落化したエリアにおいて屋外スピーカーや戸別受信機も機能しなくなった場合の代替手段はありますか。	ある・なし	適応

※ RAD：地域防災コミュニケーションネットワーク「Regional Alert DIRECT」